

子育て課題の解決に取り組む人びとを支援する団体へ

## 備蓄防災食品の一部を寄付しました

防災備蓄食品の再整備に伴い、余剰となった防災備蓄食品の一部を神奈川県内でフードバンクやこども食堂等へ無償で分配する活動を実施している特定非営利活動法人セカンドリーグ神奈川へ寄贈いたしました。

これは、社会課題解決に向けた京急グループのESG経営の一環として、京急建設がおこなっている活動のひとつで、SDGsの「(12番) つくる責任つかう責任」の目標達成に向けて、防災備蓄品の整備により、余剰となった備蓄防災食品レトルトカレー376食を寄贈し、食品ロス問題や廃棄物削減に貢献するものです。今後セカンドリーグ神奈川を通じて、京急沿線や神奈川県内の各団体へ引き渡されます。

今後も京急建設は、京急沿線や神奈川県内における持続可能な社会の実現を目指し、さらなる社会課題解決に取り組んでまいります。

### 寄付防災食品について

レトルトカレー 376食

### 寄付先について

○名称 特定非営利活動法人 セカンドリーグ神奈川

○理事長 市村 あつ子



寄付した備蓄防災食品